

costatum であったが、同時に *Ceratium furca* も多数観測されており、混合赤潮の状態といえる。

3・3 プランクトン発生状況

観測した 12 回の赤潮では、赤潮を形成したのは珪藻類単独 3 回、渦鞭毛藻類 2 回、ユーグレナ藻類 2 回、渦鞭毛藻と珪藻の混合赤潮 3 回、珪藻とクリプト藻の混合赤潮 1 回、繊毛虫（メソディニウム属）1 回であった。赤潮発生時の優占プランクトンを表 2 に示した。

2008 年度の特記事項として、6 月 2 日に東京湾内房海域において強い赤潮が観測されたことが挙げられる。本調査の調査地点とは異なるが、東京湾 19（富津岬下）の地点において、クロロフィル a 濃度 520 μ g/L を観測した。このときの透明度は 1.0m, COD 38.9 mg/L であり、内湾部以外でこのような高濃度の赤潮が発生することはきわめて珍しいことで、特筆すべき事例といえよう。

また、同じく特記事項として、2008 年 12 月 24 日に測点 98 において瀬戸内海等での発生事例が報告されている *Chattonella marina* が検出された。これまで東京湾内での発生の報告がみられない種であり、今後の動向に注意する必要がある。



写真1 2008年12月24日にみられた
Chattonella marina

文献

- 1) 千葉県水質保全研究所年報（1983～2000）、千葉県環境研究センター年報（2001～2007）
- 2) 飯村晃・小林広茂・小倉久子：赤潮等プランクトン調査、千葉県環境研究センター年報第7号（2007）

表2 赤潮発生時の優占プランクトン

年月日	海域	赤潮プランクトン
2008/4/12	浦安沿岸	<i>Noctiluca scintillans</i>
2008/4/30	浦安沿岸	<i>Noctiluca scintillans</i>
2008/5/22	Stn.8	<i>Eucampia zodiacus, Ceratium furca, Skeletonema costatum</i>
2008/6/2	Stn.13,15	<i>Skeletonema costatum, Ceratium furca</i>
2008/6/6	Stn.3,8,13	<i>Skeletonema costatum, Ceratium furca</i>
2008/6/23	Stn.98	<i>Mesodinium rubrum</i>
2008/7/30	Stn.8,99	Euglenoaceae
2008/8/1	Stn.99	Euglenoaceae
2008/8/5	Stn.1,4,5	<i>Skeletonema costatum, Cryptomonadaceae</i>
2008/9/1	Stn.3	<i>Nitzschia sp.</i>
2008/9/2	Stn.13,15	<i>Chaetoceros subgen. Hyalochaete, Skeletonema costatum</i>
2008/9/11	Stn.8,97,98	<i>Skeletonema costatum, Nitzschia pungens</i>